



町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が12日から14日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。

町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

秋の行政協力員会議 町長と語る会(仮称)のお願い

11月20日、峰栄館において秋の行政協力員会議を開催し、各自治会から出された側溝の改良や海岸漂着ごみの撤去、蛍光管等の収集回数などの要望36件について、それぞれ町の考え方を示し、意見交換を行いました。

事業規模が大きすぎてすぐには取り組めないものもありましたが、住民の皆さまが快適に暮らせるよう、すぐ実施できるものは早急に改善することとし、その他の要望についても、実施可能なものはその実施時期などを地元自治会と協議しながら、取り組んでいきたいと考えています。

また、各自治会との「町長と語る会(仮称)」につきましては、自治会総会や各種会合等の際に、一時間程度お時間をいただきたい旨をお願いしました。

福祉関係の講演会を開催 多くの町民が参加

10月8日、「フアガス」において、八森峰浜ふくし会との共催により「認知症講演会」を開催し、246名の参加がありました。

「認知症が治る時代がやってきた」と題して、国際医療福祉大学大学院 竹内孝仁教授による講演がありました。

12月議会定例会に 提出した主な議案

専決処分事項の報告について

八峰町一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

八峰町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について

八峰町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について

八峰町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

八峰町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について

能代山本広域市町村圏組合規約の一部変更について

平成30年度八峰町一般会計補正予算
4千566万3千円を増額するもの
主な追加補正
生活バス路線及びマイタウンバス維持費補助金、ふるさと納税事務一括代行業務委託料、夏井沢川単独河川災害復旧工事費、人件費

各特別会計補正予算

実際に認知症が治った映像を観てから、40年に渡り、多くの認知症患者を治してきた竹内理論とその実践について、お話ししていたいただきました。1日1・5リットルの水と1日3キロメートルの運動習慣などに気をつければ、認知症は恐くないという竹内理論のわかりやすさから、参加者からはすぐに実践してみようという声が多く聞かれました。

また、10月20日には、同じく「フアガス」において、ボランティアグループ「陽だまりの会」との共催により、「心といのちを考えるフォーラム」を開催し、190名の参加がありました。

国立精神・神経医療研究センター自殺総合対策研究室長 藤田幸司氏による「みんなで支える心の健康づくり」誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現に向けて」と題しての講演に続き、落語家の笑福亭松枝さんから、オレオレ詐欺や「笑い」をテーマとした落語により、会場は笑いの渦となりました。

八峰白神ジオパーク再認定審査 結果は1月18日

八峰白神ジオパークは、平成28年度の再認定審査の際に2年間の条件付き認定を受けたことから、今年11月に再認定審査を受けました。

日本ジオパーク委員会の中田節也委員長始め3人の審査員が11月1日に現地入り

八峰町住まいづくり応援事業 当初予算の上限に達する

これまでの申請状況は、子育て世帯向け新築支援事業が6件、リフォーム支援事業が82件、うち18歳以下の子ども3人以上と同居する多子世帯が2件、空き家購入等支援事業が1件、合わせて89件に加え、下水道新規加入が11件です。

これに対する補助対象経費は2億6千2百万円余りで、補助金内示額が当初予算の3千万円に達する見込みとなったことから11月13日をもって申請受付を終了しました。

この事業については、地域経済の活性化や人口減少対策に大きく寄与しており、来年度においても継続していきたいと考えています。

平成30年産米の作柄概況 「やや不良」

農林水産省が12月10日に発表した平成30年産米の作柄概況によると、秋田県の作況指数は、96の「やや不良」となりました。県北地域も96の「やや不良」となり、10アール当たり収量は、昨年より15キロ少ない541キロとなったところがあります。

しかしながら、生産現場から実際の収量は国が示した作況指数よりも少ないとの声が多くあることから、県では来年度に向け、減収となった要因について調査するとしています。町としても、県や周

金融教育公開授業 八峰中学校で開催

11月8日、八峰中学校において金融教育に関する実践事例を紹介する「金融教育公開授業in秋田」が開催され、発表会には児童生徒220名の参加があり、生徒が総合的な学習で取り組んできた職場体験や町のPR活動などについて発表し、成果を共有しました。

また、発表会後は、タレントのダニエル・カールさんの「日本とアメリカの違いから学ぶ賢い消費者への道」と題した講演が行われ、ことぶき大学の学生約280名も参加し、児童生徒とともに聴講しました。

また、教育委員会が第12回キャリア教育優良教育委員会として、文部科学大臣表彰を受賞することになりました。これは小・中学校における企業体験事業を推進してきたことが評価されたもので、1月18日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて表彰式が開催されます。

学校給食共同調理場の改築 検討委員会を設置

7月12日に、議会をはじめ学校長代表、

りし、4日間にわたって審査しました。鹿ノ浦展望台や白瀑神社、旧春秋林道などのジオサイトでは、地元ガイドによる説明が行われました。また、前回審査で示された課題について、事務局を中心に進捗状況などのヒアリングや自己評価表に基づいた内容確認を行いました。



審査講師では、ジオサイトの再編や拠点施設、教育活動、ネットワーク活動、防災・安全、看板等の可視性など、評価された部分もありましたが、ジオストーリーの構築等については、今後も取り組みが必要であるとの指摘を受けました。

その結果、衛生管理については、「学校給食衛生管理基準」に適合した衛生的な施設であり、高温多湿の作業環境を改善し、「労働安全衛生法」に準拠した施設であること、また、建設場所については、小中学校3校に配送するのではなく、1校とは通路でつながっていた方が良くということから、現在の調理場の隣の敷地に建設することなど、様々な提言をいただきました。

今後は、早期建設に向け、3月に策定された第2次八峰みんなの食育プランの推進を踏まえるとともに、これら提言された内容を参考にしながら計画を進めていきたいと考えています。

